

わがまち防災マップを作りました

地域の防災力向上のため、土砂災害警戒区域などの情報に加え、地域で確認した危険箇所や避難場所など、ハザードマップにはない地域独自の情報を盛り込んだ「わがまち防災マップ」を作成してみませんか？

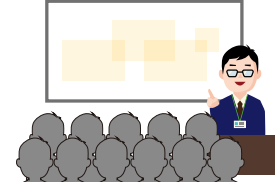
作成の流れ

①作成区域を決める



まず、区役所に相談しましょう。

②アドバイザーによる作成説明会



必要に応じて、市から派遣するアドバイザーがマップ作成に関する説明をします。

③地域での話し合い



進め方を検討しましょう。

④地域を知る～マップ作成～



災害時の被害や問題点を地図上で想定し、考えます。

⑤まち歩き



地域の危険箇所を、実際に歩いて確認しましょう。

⑥マップ作成・印刷・配布

わがまち防災マップの良いところ

- 地域の隠れた危険箇所を写真や文字で「見える化」する！
- 防災備蓄倉庫などの災害時に役立つ施設が分かる！
- 災害の種類に応じた安全な避難経路・避難場所が分かる！
- 避難のタイミングなど、必要な情報を掲載できる！

わがまち防災マップを活用しよう！

防災マップは作成して「終わり」ではなく、地域の防災活動の「始まり」です。
わがまち防災マップを積極的に活用しましょう！

活用例



地域の防災リーダーである防災士を中心に
行う避難訓練や防災研修に活用する

防災士に注目！

温品学区の
地域防災リーダー
防災士
木村 隆明さん



私は、平成27年に防災士の資格を取得し、東区を中心に防災マップの作成支援や防災講話、地域の各種イベントにおいて防災展示などを行っています。
防災マップ作成のためのまち歩きを指導していると、参加者の方から「ここは昔、水があふれて大変だったんでー」など、ハザードマップには掲載されていない、地域の方しか知らない情報がドンドン出てきて、毎回驚かされます。
災害から身を守るために、防災マップ作成を通じて、地域を知り、災害を知ることの大切さを皆さんに伝えていければと思います。

防災士の資格取得について、詳細は危機管理室災害予防課まで

マップ作成例

向洋大原町町内会 防災マップ

津波・高潮・土砂・地震

作成：向洋大原町町内会（平成29年3月）

マツダ小磯寮・第2小磯寮・大原寮
浸水時緊急退避施設
・津波・高潮



向洋大原町会館
避難場所
・土砂



向洋新町小学校
指定緊急避難場所
・津波・高潮・土砂・地震



向洋新町小学校（裏門）



大原神社
避難場所
・津波・高潮



向洋西公園
避難場所
・津波・高潮・土砂



教専寺
避難場所
・津波・高潮・土砂



井戸	井戸
AED設置場所	マツダ小磯寮/第2小磯寮/大原寮 向洋新町小学校
長い階段	
主要な避難道路	
水路など	
医院・薬局など	
公衆電話設置場所	
ガケなど急傾斜地崩壊箇所	
高潮による浸水地域(平成3年台風19号被害地域)	
指定緊急避難場所(指定)	青崎小学校/向洋新町小学校
浸水時緊急退避施設(一時)	マツダ小磯寮/大原寮
町内提供の避難場所(一時)	
高台避難場所(一時)	津波・高潮・土砂
津波浸水予想ライン(南海トラフ巨大地震想定区域)	
高潮浸水予想ライン(平成3年台風19号浸水地域を参考)	

・青崎小学校・向洋新町小学校は、指定避難所(生活避難場所)と指定緊急避難場所を兼ねています。

※ 指定緊急避難場所とは、災害種別などの状況に応じて、適切な避難場所が開設されます。